

【中国】中国人民抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利 69 周年記念座談会における習近平演説

主任調査員 海外立法情報調査室 岡村 志嘉子

* 2014 年 9 月 3 日、中国人民抗日戦争・世界反ファシズム戦争勝利 69 周年記念日に北京の人民大会堂で行われた座談会における習近平・国家主席の重要演説から、日中関係について述べた部分を中心に訳出する(訳出部分は演説全体の半分弱、文中見出しは訳者による加筆)。

(冒頭発言)

今日は、中国人民抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利記念日である。69 年前の今日、中国人民は艱難を極めた激しい戦いを経て、凶悪極まりない日本軍国主義侵略者を打ち負かし、近代以降の外敵の中国侵略に対する初めての完全な勝利を勝ち取った。

中国人民抗日戦争の偉大な勝利は、中華民族が近代以降陥った深刻な危機から偉大な復興へ向かう歴史的転換点となり、中華民族に侵略者と徹底的に戦う気概、自力更生によって国土を取り戻す決心、そして世界の多くの民族の中で自立する能力があることを十分に示すものであった。この偉大な勝利は、中華民族の歴史に、また人類の平和の歴史に永遠に記録されるであろう。

(中国人民抗日戦争勝利の意義)

8 年にも及ぶ全国抗戦を経て、中国人民は日本の侵略者を打ち破り、日本軍国主義の完全な失敗と中国人民抗日戦争・世界反ファシズム戦争の最終的な勝利を宣言した。

中国人民抗日戦争の偉大な勝利は、日本軍国主義が中国を植民地化する企てを完全に打ち砕いた。中国人民は、自らの粘り強い奮戦と極めて大きな犠牲により、日本に甲午戦争（日清戦争の中国での呼称）以降中国から窃取した東北、台湾、澎湖列島等の神聖な領土を返還させ、国家主権と領土保全を守り抜き、近代以降外国の侵略に対し連戦連敗であった民族の恥辱を完全に洗い流した。これ以降、二度と再び侵略者が中国の大地で横暴の限りを尽くすことはできないのである。

中国人民抗日戦争の偉大な勝利は、世界の大国としての中国の地位を改めて確立した。中国人民抗日戦争は、その始まりから人類文明を救い世界平和を守るという大きな意義を有し、世界反ファシズム戦争の重要な構成部分であった。世界反ファシズム戦争は人類史上空前の規模の戦争であり、その戦火はアジア、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニアに及び、80 余の国・地域、約 20 億人がそれに巻き込まれた。中国人民抗日戦争はその中で最も早く始まり最も長く続いたものであり、中国の戦場が日本軍国主義の主要兵力を長期にわたり牽制し抵抗したことは、日本の侵略者の壊滅に決定的な役割を果たした。中国人民抗日戦争は、戦略の上で同盟国の作戦に呼応してそれを支持し、ヨーロッパ戦線及び太平洋戦線の戦略行動と共同歩調を取り、日独ファシズム

の戦略協調の企てに制約を加え混乱させた。中国はアジア太平洋地域における同盟軍の対日作戦の重要な後方基地として、同盟国に大量の戦略物資と軍事情報を提供した。中国人民の世界反ファシズム戦争に対する大きな貢献は、中国の国際的地位を著しく向上させた。1945年4月、中国は米国、英国、ソ連とサンフランシスコ会議を共同開催し、国連創設について協議した。国連憲章が正式に制定されると、中国は国連安全保障理事会の5常任理事国の1国となった。中国人民は平和を愛する世界の人民の尊敬を勝ち取り、崇高な民族的名声を勝ち取ったのである。

(日本との関係)

中国と日本は一衣帯水の隣国である。中日両国の二千年以上にわたる行き来においては、平和友好が歴史の主流であった。中日の長期的平和友好関係を保つことは、両国人民の根本的利益に合致し、アジアと世界の平和と安定を守る必要性にも合致している。中国の政府と人民は、今まで同様中日関係の発展に尽力し、中日間の4つの政治文書の基礎の上に立って中日関係の長期的安定と健全な発展を推進することを願っている。

日本軍国主義の侵略の歴史に正しく向き合い深く反省することは、中日関係を構築・発展させる重要な政治的基礎である。近代以降、日本軍国主義が発動した侵略戦争が、中国人民及び広くアジアの国の人民にこの上なく悲惨な災難をもたらした。中国人民抗日戦争の期間中、日本ファシズムの軍靴の下、中国の大地は至る所地獄となり、都市は爆撃され、村々は焼き払われ、男たちは虐殺され、女たちは蹂躪され、美しい国土は踏みにじられた。抗日戦争時期、中国の軍隊と人民の死傷者は3500万人に達した。1937年12月、日本の侵略軍は南京で中国の同胞に対し人にあるまじき大虐殺を行い、30万人が殺戮され、広大な長江が鮮血に染まった。これは人類の文明史上驚くべき暴行である。日本の侵略軍は中国人民に対し、人々を震撼させる細菌戦や化学戦を発動し、凄惨で非人道的な生体実験を行った。日本軍国主義が発動した戦争がもたらした破壊と中国の資源や富に対する略奪は、1937年の価格換算で、中国の直接的経済損失が1000億ドル、間接的経済損失が5000億ドルに達する。これらは鉄のように動かぬ事実であり、否定することはできず、また否定しようもないことである。

抗日戦争勝利後、ニュルンベルグ国際軍事法廷のナチスドイツの戦犯に対する裁判、極東国際軍事法廷及び中国、ソ連等の国の軍事法廷における日本の戦犯に対する裁判が、侵略戦争を発動し両手が各国人民の鮮血にまみれた張本人にしかるべき懲罰を与え、戦争犯罪者を永遠に歴史の恥辱の柱に磔にした。

この裁判の正義は揺るぎなく挑戦は許されない。我々は、最大の決心と努力を以て、世界各国の人民と共に歩み、中国人民抗日戦争と世界反ファシズム戦争の勝利の成果を断固守り、戦後国際秩序を断固維持し、侵略の歴史の否定や歪曲を決して許さず、軍国主義の再来を決して許さず、歴史の悲劇が繰り返されることを決して許さない。

日本の発動した中国侵略戦争が中国人民にもたらした災難は、日本軍国主義によるものである。中国の政府と人民はあの戦争の罪と責任が日本の人民にあると非難したことは今まで一度もない。我々は、日本政府と政治家たちに対し、人類社会に多大な

災難をもたらしたあの侵略戦争について客観的認識を持って責任ある態度を取り、あの戦争で深く傷ついた隣国人民の感情を最低限尊重し、あの戦争で不幸にも亡くなった何千何万もの靈魂に道義に叶った対応をするよう求める。

残念なことに、中国人民抗日戦争及び世界反ファシズム戦争の勝利から 69 年の今日、日本の政治団体や政治家の中に依然として日本軍の侵略の野蛮な犯罪を頑として認めず、両手が血にまみれた戦犯の靈にあくまで参拝し、侵略戦争と植民統治を美化する言説を發表し、歴史の事実と国際正義をないがしろにし、人類の良識に挑戦する者がいる。これは、日本政府の歴史問題における約束に違反するだけでなく、中日関係の政治的基礎にも反し、中国及び広くアジアの国の人民の感情を深く傷つけている。中国人民は海や空よりも広い度量があるが、目に砂が入るのは決して容認できない。

事実は事実であり、公理は公理である。事実と公理の前では、一切の出まかせや詭弁は徒勞である。黒は黒であって、一万回言っても白に変えることはできず、白は白であって、一万回言っても黒に変えることはできない。白黒をさかさまにする全てのやり方は、最後には全て自分を欺き他人をも欺くだけである。

過去を忘れず、後の戒めとする。我々が歴史の銘記を強調するのは、恨みを引きずり続けるためではなく、歴史を鑑とし、未来に目を向け、皆で共に平和を愛し平和を守り、中日両国の人民の友好が末永く続き、各国人民が永遠に太平を享受できるようにするためである。

撒いた種は自分で刈り取らなければならない。歴史に正しく向き合うことによってのみ、日本は歴史の重荷を早く下ろすことができる。日本は、歴史、人民、未来に対し責任ある態度を取り、中日友好及びアジア地域の安定と発展を守るという大局から出発し、慎重な態度で歴史問題に対し厳粛な対応と適切な処理を行い、歴史の教訓を真剣に学び取り、しっかりと平和的発展の道を歩むべきである。

(今後の展望)

前進の行程において、我々は平和的発展の道を堅持しなければならない。中華民族はこれまでずっと平和を愛する民族であり、世界の平和を守る確固たる力であった。近代以降、中華民族は列強による長期にわたる侵略と辱めに遭ったが、中国人民がそこから学んだものは弱肉強食の強盗の論理ではなく、平和を愛する決心を一層強固にすることであった。中国人民抗日戦争と世界反ファシズム戦争の勝利が我々に与えた最も貴重な啓示は、決して揺らぐことなく平和的発展の道を歩むべきだということである。中国の主権、安全、発展利益及び民族的尊厳はいかなる勢力による侵犯も決して許さず、同時に、いかなる力も我々の堅持する平和的発展の信念を揺るがすことはできない。中国は平和的発展の道を堅持し、同時に各国に共に平和的発展の道を歩むよう呼びかけ、平和が続き共に繁栄する調和社会を構築するため努力を惜しまない。

出典

- ・习近平「在纪念中国人民抗日战争暨世界反法西斯战争胜利 69 周年座谈会上的讲话 (2014 年 9 月 3 日)」
『人民日报』2014 年 9 月 4 日